

2022年7月27日

各位

会社名 東邦レマック株式会社
代表者名 代表取締役社長 笠井 庄治
(コード番号 7422)
問合せ先 取締役管理本部長兼総務部部长
高野 裕一
(TEL. 03-3832-0132)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第2四半期において、2022年1月28日に公表いたしました「業績予想及び配当予想」を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について (金額の単位：百万円)

2022年12月期第2四半期個別業績予想値の修正 (2021年12月21日～2022年6月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	2,970	△5	25	22	円 銭 44.19
今回修正 (B)	2,915	△155	△106	△92	△181.77
増減額 (B-A)	△55	△150	△131	△114	-
増減率 (%)	△1.9	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	3,124	△50	17	23	45.35

2022年12月期通期個別業績予想値の修正 (2021年12月21日～2022年12月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,000	△50	10	5	円 銭 9.82
今回修正 (B)	6,438	△203	△124	△112	△221.79
増減額 (B-A)	438	△153	△134	△117	-
増減率 (%)	7.3	-	-	-	-
(ご参考)前期通期実績 (2021年12月期通期)	6,338	△233	△111	△217	△427.75

修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上高において、ゴム・スニーカー・その他は前年を上回りましたが、婦人靴・紳士靴が苦戦を強いられ、予想を下回りました。前年同期比において販売費及び一般管理費を削減できたものの、円安による仕入原価の上昇により営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、いずれも予想を下回りました。

また、「2022年12月期個別業績予想(2021年12月21日～2022年12月20日)」につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束について不確定な要素はありますが、年内は続くものと想定しております。売上高は下期の受注状況を勘案し、予想以上となる見通しですが、営業利益におきましては、利益率の向上を図り、計画との差異を最小限に抑える見通しの基に、記載の通り予想を修正いたしました。

(注) 上記予想は、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年1月28日)	-	57.00	-	57.00	114.00
今回修正予想	-	53.00	-	53.00	106.00
当期実績	-	-	-	-	-
前期(2021年12月期)実績	-	57.00	-	57.00	114.00

修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。しかしながら新型コロナウイルス感染症及び円安の影響による業績予想を踏まえ、配当基本方針に基づき、1株当たり53円00銭を予定いたします。

なお、期末配当につきましても「2022年12月期通期個別業績予想(2021年12月21日～2022年12月20日)」を踏まえ、現時点におきましては、1株当たり53円00銭を予定しております。

以上